

**平成 19 年度
第 96 回生存圏シンポジウム
－ RISH 電波科学計算機実験 (KDK) シンポジウム －
プログラム**

日時： 平成 20 年 3 月 3 日、4 日

場所： 3 日 京都大学 吉田キャンパス (口頭発表)

学術情報メディアセンター北館, 3F 講習室

<http://www.media.kyoto-u.ac.jp/access/>

4 日 京都大学 宇治キャンパス (ポスター発表)

総合研究実験棟・2 階講義室 (CB207)

主催： 京都大学 生存圏研究所

電波科学計算機実験専門委員会

宇治地区は現在耐震改修工事が行われており、通常の正門は使えません。南門からお入りください。

3 月 3 日 (吉田キャンパス)

13:00-13:05 はじめに

臼井 英之 (京都大学 生存圏研究所)

13:05-13:45 [招待講演] 次期センターマシンの紹介と、領域分割粒子シミュレーションにおける
負荷バランス法の新提案

中島 浩 (京大・学術情報メディアセンター)

13:45-14:10 宇宙プラズマにおける連結階層シミュレーション

杉山 徹 (地球シミュレータセンター)

14:10-14:35 適合格子細分化法 (AMR 法) を用いた電磁粒子コードの開発と応用

藤本 桂三 (NICT)

[座長：杉山] 休憩

14:50-15:15 磁場中におけるレーザー生成プラズマの膨張ダイナミクス

沼波 政倫 (大阪大学 レーザーエネルギー学研究センター)

15:15-15:40 太陽風中におけるアルフヴェン波のパラメトリック不安定性

羽田 亨 (九州大学、総理工)

15:40-16:05 惑星突入機表面電極方式 MHD 発電機の動作特性

石川 本雄 (筑波大学)

[座長：藤本] 休憩

16:20-16:45 高速磁気再結合過程の三次元不安定性と太陽フレア現象への応用

清水 徹 (愛媛大学 宇宙進化研究センター)

16:45-17:10 地球磁気圏近尾部における高速プラズマ流の 3 次元形状

近藤 光志 (愛媛大学 宇宙進化研究センター)

- 4 日午前にポスターセッションを宇治キャンパス・総合研究実験棟 2 階化研講義室 (CB207) で行います。ボードは 180cm (横) × 120cm (高さ)。

3月4日(宇治キャンパス)

ポスターセッション（コア時間：10:00 - 12:00、ポスターは9時半ごろから準備できます。）

- (1) 高速太陽風による Alfvén 波の圧縮過程の検証
坪内 健
- (2) マグネトシースにおける L モード電磁イオンサイクロトロン不安定性とミラー不安定性の競合関係
小路 真史
- (3) 月周回軌道における波動の観測シミュレーション
後藤 由貴
- (4) Simulation of mode conversion process from Upper-Hybrid wave to L0-mode wave in plasmasphere
Kalaee Mohammad Javad
- (5) 宇宙飛翔体プラズマ環境における波動観測アンテナ特性に関する計算機実験
三宅 洋平
- (6) 数値解析を用いた磁気プラズマセイルの性能解析
梶村 好宏
- (7) 磁気セイル宇宙機のMHD解析に向けて
佐々木 大祐
- (8) 磁場印加型電磁プラズマアークジェットのための電磁流体コードの開発
船木 一幸
- (9) イオンエンジンにおけるビーム中和電子粒子解析
鐘ヶ江 将詩
- (10) 3次元粒子シミュレーションによる極域衛星帯電の能動的緩和に関する研究
今里 康二郎
- (11) グリッドデータファームによる衛星観測データと計算機シミュレーションデータの大規模並列分散処理環境の構築
山本 和憲
- (12) 3次元マグネトロンシミュレータの高性能化
浦西 洋輔
- (13) マイクロ波を用いた電気自動車無線充電システムの高効率化
兒島 淳一郎
- (14) 熱帯域季節内振動の活動度と予測可能性との関係
谷口 博
- (15) 磁気スカラーポテンシャルを未知数とする非線形磁場解析の代数マルチグリッド前処理を用いた高速化
美船 健
- (16) 宇宙プラズマ中の非リングイオンビームによる波動不安定性の計算機実験
湯 銘